

【編集元】衆議院議員中川正春事務所

E-mail:nakagawa@cronos.ocn.ne.jp

三重／〒513-0801 鈴鹿市神戸 7-1-5

TEL:059-381-3513/FAX:059-381-3514

東京／〒100-8981 千代田区永田町 2-2-1

衆議院第一議員会館 519 号室

TEL:03-3508-7128/FAX:03-3508-3428

## ○混迷を深める安倍政権

安倍政権は、ますます混迷の度を深めています。森友、加計疑惑にとどまらず、財務省、厚生労働省、防衛省などの公文書改ざん、ねつ造、隠蔽。止まる所を知らないスキャンダルに、深刻な政治の劣化を感じています。安倍首相の官邸主導（首相への権限集中）や人事権をてこにした官僚機構への私的介入が、これまで国家の大義をよりどころに仕事をしてきた「官僚の矜持」を壊しています。民主主義の基本を総理の権力悪用で壊しているのです。安倍首相は、膿を出しきって、何が起こっていたか説明するというものの、実際には、証人喚問を拒否したり、捜査中という言葉で逃げてウヤムヤにする魂胆が見えています。ここが正念場です。とことん戦います。

## ○国民民主党、野党再編の第一歩

野党再編の第一歩、希望の党が解党して、民進党と合流、「国民民主党」となりました。これまでの4グループ体制が、これで、「立憲民主党」「国民民主党」「無所属」と3グループの体制になります。

ここで、立憲民主党と国民民主党の連携をもう一步進めなければならないという課題が残っています。参議院選挙では、それぞれの選挙区選挙で候補者が重ならないように調整して相互に推薦しあう体制。比例代表では、立憲民主党と国民民主党が一つの統一した名前を使って、一緒に戦う体制を作ることが必要だと思っています。さらに、私たち衆議院の選挙では、共通の政権構想を描き、野党の連立内閣の実現に向かって頑張ります。

こうした目標を実現することが「次のステップ」です。私たち「無所属」のメンバーは、新しく合流する人たちとともに、今一度、無所属のままで、次の野党連携を完成させるために、二つの党の真ん中で連携軸を作っていきます。野党の大連携を完成させ、無所属を卒業して、中道でリベラルな政党への着地を目指して頑張ります。

## ○女性の政治参画推進法案、衆院を通過

今国会で、私の政治課題の一つ、女性の政治参画を推進する法案が、やっと衆議院を通過し、参議院で採決されることを待つだけになっています。

国会議員に占める女性の割合は 10.1%。世界では 159 番目になります。このガラパゴス状態をいかに解消するかは、重要な課題です。女性の権利を保障することだけでなく、日本社会が成熟して、多様な価値観が共存して刺激しあい、さらなる豊かさを実現する段階に入っていくためには、男女ともに家庭と両立して、社会の中で活躍できる環境をつくる必要があります。そのためにも、より多くの女性が自ら政治の意思決定過程に参画して、社会政策の制度設計に携わることが大事です。

各党から代表を募って、「政治分野における女性の参画と活躍を推進する議員連盟」を作り、ここでまとめた議員立法を国会に提出することができました。男女の候補者の数を「できる限り均等」としていくことを社会全体の目標としよう。各政党は、それぞれ女性議員の数の目標割合を決めて、オープンにし、それが守られるかどうか、国民に評価できるようにしよう。国は、女性議員を増やすために、環境づくりや財政上の措置をする等の規定が動き出します。

「この法律が成立することが、女性の政治参画を促す歴史的な転換点になるように、これからも男の立場から頑張ります。」と、私は、これからもうたえて行こうと思います。ぜひ、一人でも多くの女性が手を挙げて、国、地方にかかわらず、それぞれの選挙に挑戦してください。志のある皆さん、相談に乗りますから、連絡ください。

## ○「民進党」黨員・サポーターの皆様へ

これまで「民進党」の黨員やサポーターとして政治活動を支えてきていただいた皆様には、本当にありがとうございました。民進党の急な再編で、私は民進党を離党し、当面、「無所属」として活動することとなります。野党の連携をさらに大きなものとするために、「次のステップ」へ向けて進める間の暫定的な位置づけです。

つきましては、今年度、民進党にいただいたご登録ですが、中川正春後援会への御支援としてご継続いただきたく、改めてお願い申し上げます。事務所より、お電話、又は、スタッフが直接訪問させていただきたく、ご理解ご協力のほど、重ねてよろしくお願い申し上げます。